2011 年度活動結果報告

１． 総括的な活動結果

2011 年は東日本大震災、原子力発電所の事故、台風による水害など終生忘れることのできない年でした。ナルクが取り組む支援活動に「天の川クラブ」も積極的に対応してきました。

皆さまからは、多くの義援金、支援金を寄せていただきありがとうございました。９月には宮城拠点が活動している、パラソル喫茶活動に４名を派遣しました。

2011 年度の活動結果は時間預託、奉仕活動ともほぼ計画通り達成いたしました。会員数も目標の 850 名を超え、皆さんからの紹介で多くの方が入会されました。また、５月に“ふれあいルーム「天の川」”を開設した結果、多くの同好会が生まれ事務所への訪問者も増えています。

＊2011 年度重点課題の報告

計画しました４項目の重点課題について、副代表をリーダーとして全運営委員が参画する推進委員会を設置してそれぞれの課題に取り組んできました。

（１） 会員増加推進委員会

「天の川クラブ」のガイドブックを作成し会員全世帯に配布、またイベント会場などでの配布によりＰＲ効果が上がっています。そのほかＮＰＯセンター広報紙に定期的な募集記事掲載なども実施しています。

今後の課題は、企業や施設などへのＰＲと退会者を減らすことです。

（２）地区会活性化推進委員会

地区会の活性化は重要です。地区単位での活動が顔の見える組織として最善です。地区担当運営委員を選出、世話人、コーディネーターとの連携で目的達成のため努めました。地区連絡網を作成し全会員に配布し、緊急時に役立つものと考えています。

（３）ふれあいルーム活用推進委員会

５月に開設した結果、多くの同好会が生まれました。会員の作品等が定期的に展示されて開設以来の利用回数は 265 回とほぼ毎日利用されています。

“ふれあいルーム「天の川」”だよりを毎月発行しＰＲに努めました。

（４）地区貢献活動推進委員会

地域の自治会、老人会などとの連携で貢献することが目的ですが、地区会との連携も重要だと考えられます。一部の地区では自治会に働きかけましたが具体化しませんでした。各地区内の福祉施設などで新規の奉仕活動を行うことも意義あると考えます。

２．時間預託活動（会員相互扶助・福祉施設支援ほか） 担当 近藤秀子

会員相互扶助活動は計画 3,490 点に対し実績 3,750 点でした。福祉施設支援活

動は計画 3,042 点に対し実績 2,548 点でした。

会員相互扶助活動はナルクの活動の大きな柱です。会員同士が助け合い支え合うことで日常生活を豊かにし、そしてその活動が生きがいを生みます。

福祉施設支援活動は、ボランティア活動により高齢化の進む地域社会に貢献するという大きな任を担っています。

（１）会員相互扶助活動

家事・介助は、支援に入る提供者が限られており、コーディネートが困難になってきています。提供者の掘り起こしが急がれます。

庭の手入れは、地区担当コーディネーターの配置が功を奏して、順調に推移していますが、高齢化対策として剪定技術者の育成が必要です。

ハウスヘルパーは、提供内容も多岐にわたり 50%増と大きく実績を伸ばしています。

送迎は、利用者の状況変化で減少しました。今後は生活の質を高めるよう病院以外の場所への移送なども取り入れていく必要があります。

パソコンは、買い換え時期を迎えた会員の対応が多くありました。また簡単な内容には電話で対応し、このような利用は増えましたが、活動点数に反映されなかったことが今後の課題です。

（２）福祉施設活動

「サンセール香里園」は、安定した活動が出来ました。中でも「脳の健康教室」は提供者再募集により世代交代が図れました。

「エイジフリー・ライフ星が丘」は、施設側の都合で提供内容に変更があり、二階フロアーは、話し相手中心の活動になりました。

「グループホーム花梨」は、利用者が減少し活動時間が減りました。

（３）枚方市在宅生活援助受託事業

年２回のスポット利用の依頼が急増しました。また提供内容も広がり専門技術を要する事例も重なり、会員が家事支援の延長として提供するには無理が生じてきています。特に年末に集中したことで混乱が起き、早急に対策を講じる必要に迫られています。

３．奉仕活動　　担当　三津輝雄

奉仕活動は、計画 11,077 点に対し実績 9,834 点でした。

活動別の状況

（１）　福祉施設活動は、1,518 点で計画通りでした。

サンポエムに対する活動は提供者の真摯な活動に支えられています。その他の施設の行事にも多くの提供者が活動し感謝されています。

（２）　子育て支援活動は、2,028 点と大きく増加しました。

親子広場支援は、母親と子供が集う２カ所の子育て支援施設での活動は３世代が交流することで意義のある活動です。

子供安全見守り隊の活動は、小学校区で事情が違い、少子化のため活動が低調なところがあります。会員の高齢化により活動も伸び悩んでいるようです。

志希自然小学校の活動は、長年活動してきました児童の在籍者が無くなったため 2012 年３月で活動を休止いたしました。長年活動してこられました皆様に感謝いたします。

（３）環境美化活動

環境美化活動は、523 点と低調でした。

クリーン・アダプト活動は、月２回の活動が１回は雨の日が続いたのが減少した要因です。

アドプト・リバー・NALC 天野川活動は、活動者も増えてきましたが、ゴミの量が多いため更に多くの活動者が参加されることを期待します。

（４）　その他外部活動は、330 点でした。

主な活動はＮＰＯフェスタ、ひらかた祭り、さくら祭りなどの外部団体が主催するイベントへの参加です。

（５）　ナルク内部活動は、5,435 点と活動全体の約 50%ですが、従来と比べてナルク外部活動の比率が多くなってきていますので良い傾向といえます。

４．事業活動　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　担当　西田スマコ

NALC の理念「自立、奉仕、助け合い、生きがい」を「天の川クラブ」に於いて達成するための活動と高齢者の生きがい支援活動としての「生きがい創造学園」および「生涯学習情報プラザ」の運営に寄与するための活動です。

（１）生きがい創造学園受託事業

受講者の声を尊重し、通常講座および短期講習の見直しをしました。特に定員割れ講座については、講座を変更し応募者の改善を図りました。

この受託事業は、「楽しく学んで豊かな暮らしつくり」をモットーに各種講座を実施し、約 500 名の受講者が学び運営も順調に経過しています。

（２）生涯学習情報プラザ受託事業

生涯学習情報プラザ受託事業は受託してから７年を経過しました。

本年度総利用者数は、前年度に比較しやや減少しましたが、情報プラザを利用する方は、長時間利用するリピーターの比率が高くなってきております。

各種講習会は、ミニ体験（大人対象）、おもしろパソコン教室（小学生対象）デジカメ写真取込み簡単編集体験（大人対象）の３種類の講習会を実施していますが、いずれも好評に推移しております。

中学生以下の利用者に対しては、不適切な URL のフィルタリング等きめ細かく対応を行いました。そのため中学生以下利用者の減少傾向が表れていますが、今後も継続して取り組んでまいります。

５．文化・スポーツ活動　　　　　　　　　　　　　　担当　梅田壽雄

今年度の新規発生および廃部はなく、昨年に引き続き活発な活動が展開されましたが、参加者の減少が顕著な部もあります。全般的に参加者は減少傾向であり、来年度の課題として原因の究明と具体的対策により活発化を取り戻します。

今年度も竹遊会、『遊びの玉手箱』、同好会の「オージーンズ」は地域の小学校での子育て支援や東日本大震災チャリティーパフォーマンスに参加し地域・被災地へ貢献し高い評価を得ました。

“ふれあいルーム「天の川」”の開設に伴い新たにたくさんの同好会が発足しました。現在登録されている同好会は既存を含めオージーンズ、水切り絵、囲碁将棋、ハーモニカ、盆踊り、野菊お茶の会、コスモスの会、天の川サロン、編み物手芸、ＪＲ青春旅の会、の 10 グループとなっています。

次年度は、これら同好会の位置づけを明確にしていきます。

６．会員活動促進　　　　　　　　　　　　　　　　　担当　山田　徹

会員の増加に伴い、情報伝達・収集を密にするため、会員の親睦を図り活動を活発化し、きめ細かい活動をすることにより、顔の見える組織つくりと全会員が活動に参加出来る機会を目指して実施しました。

（１）地区会

各地区に 1 名以上の運営委員の配置を行い地区会の充実を図ることが出来ました。また地区担当運営委員を選任することにより、各地区年間 2 回以上の地区会実施が実現しました。

地区会活性化のため「地区会活性化推進委員会」も立ち上げ、地区担当運営委員・地区世話人・連絡員（手配り担当者）の連絡網の整備により、会員相互の顔が見え、親睦とお互い助け合える環境つくりが出来ました。

（２）会員研修

会員のボランティアとしての知識・技術の向上のため、交通バリアフリー体験、ＡＥＤ研修、コーディネーター養成講座研修を開催し、また本部研修のＩＣＴ講習会、市民後見人制度講習、リーダー養成講座も受講しました。各研修はいずれも好評であり、今後の活動に期待が持てます。

（３）イベント

2011 年度の定時総会は、懇親会終了後「東日本大震災」への支援バザーの募金 69,308 円と会員からの募金 211,075 円を合わせ本部へ寄付しました。

毎年恒例の『秋のつどい』は、交野市“星の里いわふね”にて、215 名の参加者を得て、インド舞踊やオージーンズの演奏を楽しみました。親睦旅行は「片山津温泉」への一泊旅行を実施しました。

（４）活動区分別交流会

活動区分別交流会は、同じ活動仲間との情報交換と意思疎通を図るのが目的です。

開催回数および参加者は、前年に比べ増加したものの計画に対しては低調でした。コミュニケーション・親睦の場として積極的に開催していきます。

（５）誕生月会

昨年までは隔月の開催でしたが、本年度８月より“ふれあいルーム「天の川」”を利用して、毎月開催となりました。参加者は延べ 152 名と前年度より 37 名の増加となりました。初めての参加者も多く大変喜ばれました。

（６）天の川サロン

毎月第４水曜日の午後１時～３時に“ふれあいルーム「天の川」”を利用して、語り合ったり、教え合ったり、ものつくりをしたりして楽しみ、気軽な交流の場としての活動をしました。

７．事務局活動　　　　担当　和田亮吉

会員管理システムＮ-one（エヌワン）導入のため、2011 年４月から試行入力を行い、諸問題に取り組み解決を図ってきた結果、2012 年４月から正式に導入をいたします。

事務所が手狭になっていたため、103 号室から 101 号室に 2011 年４月に机・パソコン・書類棚などの移動を行い、併せて事務作業の効率化を図ってまいりました。同時に 103 号室を“ふれあいルーム「天の川」”として会員に開放することにより、同好会・地区会・ギャラリー展示などが開催され、多くの会員が交流の場として活用できるようになりました。